



地球上すべての人びとに平和に生きる権利を

9 条地球憲章の会 第 38 回公開研究会

会呼びかけ人・元 NHK プロデューサー・武蔵大学教授

永田浩三さんの講演

核兵器のない地球のために

～ ドキュメンタリー・俳句の可能性を考える ～



2024 年

4 月 25 日

(木) 午後 6 時 30 分～8 時 30 分

オンライン ZOOM による開催 参加費: 1000 円

申し込みは、

次の URL か右の QR コードから

<https://forms.gle/G8rbWAgxnu5Ye8859>



永田 浩三 (ながた こうぞう)

1954 年大阪生まれ。武蔵大学社会学部教授。
NHK で「NHK スペシャル」「クローズアップ現代」などのドキュメンタリー・教養番組を制作。

【著書】

『ヒロシマを伝える』『NHK と政治権力』『奄美の奇跡』『ベン・シャーンを追いかけて』

【共著】

『フェイクと憎悪』『ジャーナリストたち・闘う言論の再生を目指して』『現代ニッポンの大問題』『公共放送 NHK はどうあるべきか』

【映画】

ドキュメンタリー『命かじり 森口豁・沖縄と生きる』『闇に消されてなるものか 写真家・樋口健二の世界』の監督。

【その他】

表現の不自由展委員。高木仁三郎市民科学基金理事、江古田映画祭「福島を忘れない」代表。現在『原爆と俳句』（仮題）を執筆中。

学生たちにドキュメンタリーの制作や歴史を教える教員生活も来年で終わりです。大学に来るまでは NHK で現代史をテーマにした番組をつくってきました。いつも忘れないのは、ヒロシマ・ナガサキ、ビキニ事件のことでした。母や祖父母が広島で爆心から 800 ㍎で被爆しました。また第五福竜丸元乗組員の大石又七さんからさまざまなことを教わってきました。最近、映画『オッペンハイマー』が話題になっていますが、あのなかに登場するひとたちを取材したこともあります。

この 5 年、俳句という世界で最も短い詩の器を使って、人々が原爆にどう向き合ってきたのかというテーマに取り組んできました。名だたる俳人、ようやく語ることを許された被爆者、広島や長崎、東京で原爆の俳句の大会を立ち上げ運営を続けてきた人々。多くの方々の物語がそこにあります。わたしのこれまでの歩みとともに、原爆と俳句についてお話させていただきます。

連絡先 9 条地球憲章の会事務局

9.globalpeace@gmail.com

HP <https://www.9peacecharter.org/>

FB <https://www.facebook.com/9peacecharter/>